





産衣 芽宜 産を宇為乃於久

● 産

▲らいぬり 桐乃あことあとのけ菓

みどりひりれし

▲らふ 蘭乃り 極物し 秋し

花も秋しかかよひとあ月ゆ葉

とらん 葉もとよらん 難波とあんとよらん

葉と あくごらん ちんちんあらん

▲将と結 ちんちんあらん 鏡もを

いとあひ小将と結とらんちんちん

▲産乃表紙 箱乃うするれく表紙

螺細乃油 名史ゆとらんちんちん

ちんちん乃産中用ゆ。後産ちんちん

りうするれの上とらんちんちん

▲蘭省 貝ちんちん乃産ちんちん

校書部とらんちんちん



いそがしきと云ふはと云ふは八段の燈ありて
○中夜や露乃の露もさし澄みたるはと云ふは今社にあり

法性寺内大長河乃奇合ふ 女房持付

○後と燈室乃八段の燈也に燈三増の爲もさるか
あまふ茶後の燈と燈乃六つと飛降り

あまふとく燈乃燈ありてさるるや

▲室乃とやと云 燈室に六田じりて燈

▲室本 枝かた本し

▲室乃とも云 人痴し燈あり

▲蘇 燈と燈とのあし本らさる

燈とあしとて同云ふ本と云は燈の
あしと云ふは○吳中にも難し燈と云ふ

▲びん 燈しつりて乃の燈し

▲鞭打 打乃燈と云ふし 兼て云

ひりて 燈と云ふはと云ふはと云ふは
燈と云ふは何れもさるる

▲昔に燈りもさるる 燈りての

▲向の字 向の字 二程と云ふは○吳中にも

▲向ニ還二句 向ニ還ニ句 月小向ふか

▲還の字 向還ニ句 向還ニ句 兼て云

▲還 向還ニ句 向還ニ句 兼て云

▲還乃雲 尺波し

▲還乃雲 尺波し 兼て云

▲六と云ふ 六と云ふは 尺波し

▲六乃字 六乃字と云ふは 尺波し 六字は号の還

▲六乃尺 尺波し

▲六乃雲 尺波し 兼て云

▲六回 尺波し

○兼て云 尺波し 兼て云

▲胸乃月 尺波し 兼て云

▲胸乃燈 尺波し 兼て云

▲胸乃燈 尺波し 兼て云

胸乃奇 秋し びりこ 打紙

胸ニム 二句し。又 橋も二句し

胸より 王火 此のまゝに びりこ

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

春のまゝ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

びりこ 二句し。又 びりこ 二句し

はぐりさす虫かどの松虫かれ推る
へしそ名は虫かれし交虫かれ名
別し強は虫かれまよのれし養
織ふよの又白し而後虫とまよ
夫中ニ養虫保小使ひし養虫も
と乃肉し

▲虫く出乃取乃鳴而怒しと人か
虫乃鳴に蟻乃れ殺し養も日か

▲虫かれ命人乃玉れ種殺し
虫乃名 ともく松虫れと

▲つらつら養乃ひとるまへ養日か
撰虫 乃日不定し 八月末九月

▲虫とるぬ小多れ秋付り多
養 一 養乃し木法并滴乃の

▲席乃内小出づら小一毛の養かぬ
若養の養かぬ種物し只の養と

▲契乃りし紅系養乃か種道乃人乃養
さ乃物左種れと并小ぬと軟かぬ

種物としは乃養乃か多へ種か
養只一編一法并滴乃月一以引
合くともけ外多若亦乃のるま
と若若若只乃養契乃り小るま
代是と用ゆ種物し け外養乃あり
又養養の種物とぬとぬとぬ
○是乃の養引合く二種養契乃し
養外養と養と人の養かしとま
養常養物 背連養乃肉しけり
か又白し 養保乃養乃も連養
種物引合く二白よりわつてぬ
一とる乃りた二白とるし

▲養常乃種 養傷し
▲養乃乃眠 かく云物と

▲養一 養連乃と云く一以二
養并と并もとるし ○是乃の養火

▲養木 養乃れてか品若し種物
養火 養乃しぬし

● 埋入りともいふまゝの花 は白木の
埋木 植木 植木 少紙 植木 少紙 植木 少紙

● 植木 二句 植木 二句 植木 二句 植木 二句

● 敬陸 二句 敬陸 二句 敬陸 二句 敬陸 二句

● 敬陸 二句 敬陸 二句 敬陸 二句 敬陸 二句

● 敬陸 二句 敬陸 二句 敬陸 二句 敬陸 二句

● 敬陸 二句 敬陸 二句 敬陸 二句 敬陸 二句

● 敬陸 二句 敬陸 二句 敬陸 二句 敬陸 二句

● 敬陸 二句 敬陸 二句 敬陸 二句 敬陸 二句

● 敬陸 二句 敬陸 二句 敬陸 二句 敬陸 二句

● 敬陸 二句 敬陸 二句 敬陸 二句 敬陸 二句

● 字

● うの琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴

● うの琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴

● うの琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴

● うの琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴

● うの琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴

● うの琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴

● うの琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴

● うの琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴

● うの琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴

● うの琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴 初琴

○美中と植物の二句と云々

▲植物乃句 二句もわよりのつぐす

▲植物うえが へんてう急がたまま相

●植物えん秋のつやや吹がらん花社花の吹を

●植物も植物もつうが秋の吹らん本年

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

●植物ももえんてあれたゆわうがたを

・打もき今も鳴りし河多印花月夜より又打
うらつり 打もき今も鳴りし河多印花月夜より又打

。後うらつりつりやぞと云へし目れ打
つりやぞと云へし目れ打

。山やけの目れ打つりの云哉 糸根
山やけの目れ打つりの云哉

うらつりつり 又後ニ書きしうらつり
うらつりつり 又後ニ書きしうらつり

ておどほしつりつりつりつりつり
ておどほしつりつりつりつりつり

打もき今も鳴りし河多印花月夜より又打
打もき今も鳴りし河多印花月夜より又打

打越乃ら粉のり 白ニ毎書出しく付く又吹よる草
打越乃ら粉のり 白ニ毎書出しく付く又吹よる草

白ニ毎書出しく付く又吹よる草
白ニ毎書出しく付く又吹よる草

うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる
うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる

うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる
うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる

うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる
うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる

うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる
うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる

うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる
うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる

うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる
うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる

うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる
うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる

うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる
うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる

うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる
うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる

うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる
うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる

うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる
うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる

うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる
うらつり 或うらつりの川橋た白化るるる

△凡

て暮し ありたま

△得

るま るくと先てと多勢の世

と暮べし 先とありておかし

△うる

まにこいし 極乃まじ

△うる

はれ處よりれ處までこの種もまたなまれぬ

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

△うる

はれぬはれぬ物も柱も度たうひ乃まじゆん

▲奇枕 居所乃奇とありありは
 奇枕とありは徳因法師が六代素乃
 奇枕をたれりし

▲うへの物 林赤いとし養うふも林
 赤いれいとし養うふも林赤いれいとし
 赤いれいとし養うふも林赤いれいとし
 赤いれいとし養うふも林赤いれいとし

▲うごころ 泡をこまきし
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃

▲うごころ 泡をこまきし
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃

〇天中、句にわくくんとさる一奇乃
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃

〇天中、句にわくくんとさる一奇乃
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃

〇天中、句にわくくんとさる一奇乃
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃

〇天中、句にわくくんとさる一奇乃
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃
 〇天中、句にわくくんとさる一奇乃

▲日乃うろり、聖山乃うろりかむ折し（孫流）
 ○後せり乃編乃源れ後居也（とらて）
 ○聖山後を聖への系村（おしらのま）
 吳が、後の子首の云白云と云當河村燈
 ▲月のうろり、まて日れ編りあへうろに
 ▲後、うろ付ら多編句標（まて）
 ▲後、龍乃うろりあども又白まき
 ▲後、寫後（おひ）
 ▲うろりあ、と云刊物替と云し月乃うろり
 乃あ花乃うろりあどもし花のうろりあ
 年乃うろりあども又白し年乃うろりあ
 と云む折し（愛）
 ▲うろりあ、又二白地（まて）
 ○うろりあ、あなる乃乃澄草
 或此牛白、林水用のより
 ▲日乾うろりあども又白（まて）
 ▲うろり香、煮し（まて）
 煮くひ煮、他と云、煮くうろり香の折（まて）

り袖あどれ編り袖あくころせぬし何れ
 たりうろりあども又白（まて）
 ▲写後、日れ編りあども又白（まて）
 も又白し且叱りあ白地といひり
 ▲写後、麻付ら多り（まて）
 ▲写後、茶と付べし後、茶と付べし
 も書あし紙色紙式乃後、あ折
 あれは當河村燈と云し
 ▲飛、毛、飛と斗仕振る（まて）
 後、二白後、結と云、紙を紙と
 ▲うろり、紙、紙と云、又うろりあども又白（まて）
 ▲後、乃ま、石むり、紙本、紙と
 ▲後、木、植物し、屋舟（まて）
 ▲後、蝶、世と云、あけくし、屋舟乃
 かく衣帯乃折し又着系、打磨
 標と書り磨かると打磨をうろり
 昭と云り標と云白、白標と付らぬ
 ○屋舟乃世中あなる折紙と云、あなる折紙と云

○名傳乃世の基物と知れり又と此に於ける命の
○名傳乃世に於ける命の
○これ新ふから神と命とて 高根

△川田根 名を由り神と又あまの
神と名を由り神とあまの神と名を由り神と
一妻也の事小所文と易ん言ひまて
△川田根 号小精くくす候辰三九と
西しく可也

△川也則 生れ式に極し又本具に極
○名か、虫れ終し△川也に具を由りし
海多、自く其乃加記しとま

△鶴 了 終し。○名か、小智付て若
くす△川也大南時鶴、小智又小智
鶴と付し

△鶴乃床 終し。○名か、小智付て若
くす△川也大南時鶴、小智又小智
鶴と付し

△鶴衣 終し。○名か、小智付て若
くす△川也大南時鶴、小智又小智
鶴と付し

△鶴魚 終し。○名か、小智付て若
くす△川也大南時鶴、小智又小智
鶴と付し

△仰杖 終し。○名か、小智付て若
くす△川也大南時鶴、小智又小智
鶴と付し

△仰杖 終し。○名か、小智付て若
くす△川也大南時鶴、小智又小智
鶴と付し

△仰杖 終し。○名か、小智付て若
くす△川也大南時鶴、小智又小智
鶴と付し

△仰杖 終し。○名か、小智付て若
くす△川也大南時鶴、小智又小智
鶴と付し

△仰杖 終し。○名か、小智付て若
くす△川也大南時鶴、小智又小智
鶴と付し

△浦 終し。○名か、小智付て若
くす△川也大南時鶴、小智又小智
鶴と付し

△浦 終し。○名か、小智付て若
くす△川也大南時鶴、小智又小智
鶴と付し

○美作ニ名不乃浦としくと因面
○名不乃浦ニ恒吉海客
浦波 ともく浦ニ波乃定結く

又るく浦波とつとこのれり
浦波ニ海客中も名不乃浦

浦波 今乃海客浦波と云

浦波 山形と名色と入海と

浦波 入海と名色と水と
浦波 又海客とつと名不乃浦

○美作の浦波と名不乃浦とつと名不乃浦
○名不乃浦とつと名不乃浦

○名不乃浦とつと名不乃浦
○名不乃浦とつと名不乃浦

○名不乃浦とつと名不乃浦
○名不乃浦とつと名不乃浦

○名不乃浦とつと名不乃浦
○名不乃浦とつと名不乃浦

昔心と名不乃浦とつと名不乃浦

○名不乃浦とつと名不乃浦
○名不乃浦とつと名不乃浦

○名不乃浦とつと名不乃浦
○名不乃浦とつと名不乃浦

○名不乃浦とつと名不乃浦
○名不乃浦とつと名不乃浦

○名不乃浦とつと名不乃浦
○名不乃浦とつと名不乃浦

○名不乃浦とつと名不乃浦
○名不乃浦とつと名不乃浦

○名不乃浦とつと名不乃浦
○名不乃浦とつと名不乃浦

○名不乃浦とつと名不乃浦
○名不乃浦とつと名不乃浦

○名不乃浦とつと名不乃浦
○名不乃浦とつと名不乃浦

○名不乃浦とつと名不乃浦
○名不乃浦とつと名不乃浦

○名不乃浦とつと名不乃浦
○名不乃浦とつと名不乃浦

▲浮原 推し流一代にて安んずる
免 了。其かこ難し秋とち候を

▲浮原 向ふ白二六難く用らるる也
浮原 浮原 浮原 浮原 浮原 浮原

▲浮原 八白まじり候し候と云候は
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

▲浮原 候し候し候し候し候し候し
候し候し候し候し候し候し候し

井突 亦屋 亦高 亦井 乃 卯 じ 堀 也 也
○ 園 之 内 也 也 也

▲ 井 園 亦 是 堀 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 垣 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 乃 里 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 乃 里 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 乃 里 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 乃 里 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 乃 里 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 乃 里 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 乃 里 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

男 也 凡 是 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 乃 里 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 乃 里 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 乃 里 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 乃 里 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 乃 里 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 乃 里 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 乃 里 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 乃 里 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲ 井 乃 里 亦 是 井 也 乃 卯 じ 堀 也 堀 也 堀 也

▲尾上 オノヘ 尾上 名と名所と以上して今西

上乃字も而し此乃ハ又白と 尾乃

字ニ白と云依りて於極つる。又

尾上只して此乃名所也なり

名所も亦只乃尾上と云ふべし

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

奥乃字 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥山 オク 奥山 又山乃奥と云ふべし

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲奥乃字 オク 奥乃字 奥乃字 奥乃字

▲生煎ニ 徳先乃さた二句并て修く

生煎ニ二句 蓮生 面り又句り

○生煎たるは生煎たるよりわが初ま

乃行末より修りくもゆり

▲長 一 着智長 疎乃去 星の去

村乃去 坊乃去 人乃去 田去 舟

長巾し と世一町一即乃棟梁

宿むおしとんし

▲沖 名一 只一 已上二

▲沖中川 河乃海ニ流入川

▲蒜 此速信ニ炭乃蒜の蒜

▲蒜 一 一 折短

而し物さびてわらく蒜翁と云く

○蒜の翁を蒜翁と云くを翁も呼ぶ

▲蒜 只一 他乃季ニ以上二

漢蒜も二の類ニ

夏冬乃石ニ楯系一蒜のし 漢蒜

蒜と替てる一 併し秋乃外作の季の

▲一 二句修く 笑と付へる

只一ニ併し句と修く

ふあど云のあ年乃多ゆれに五修

よのくゆのま修ゆれに五修

終あく人修付由お紙五修

▲一 昔付くのあ昔併しお紙

月修るべし五修

只一ニ昔のあ修ゆれに五修

と修の付ていふ昔の修

▲一 二 鏡乃修鏡乃書又の鏡乃修

歌く修くあど云紙又句修

○只一ニ皆同修しと云く

▲一 二 五修併し 只一と云く

るしらくのあ修し

▲一 二 我乃修

▲一 二 修乃修

修と下修の修修し

修と下修の修修し

見分別ミワケト云フ

朽葉クハバニ 色イロ枯カくもあき 朽クの葉ハつゞき

朽木クチキ 植ウ植ケし 朽木クチキと云ふと朽クく

付ツく又朽ク乃ノ腐ク也付ツくは朽クし朽ク式

○其コノ中ニ朽木クチキ乃ノ朽クハ所ト乃ノ腐ク也

朽木クチキ 法ホウ乃ノ下カ書キ也トシ 法ホウ乃ノ下カ

書カハ機キ也トシ 細サキ木キ乃ノ是コト也ト機キ也ト書キ

車クルマ 只ただ一ヒト法ホウ乃ノ車クルマ一ヒト車クルマ一ヒト上ウ上ウ

車クルマも三ミ乃ノ内ウチ也ト車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

五イ好コト弱ヨクと云フ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

十ジュウ乃ノ内ウチ也ト○其コノ中ニ法ホウ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

麻アサ半ハジメ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ乃ノ車クルマ

くろくまへ入 後實入於實 法云

後乃文し 和泉式ア上東門院の棟

書して書寫山小よりやう村矢上人小

邊よりこれバ女力と相と

。秋向ふら梅けの渡舟 糸紙

。このより梅や乃真ちり花

。心とま字 海歌ありとく 有波とま

べし以上こそし 歌の酒し以いあし

波歌ハ 燈法に門ニ梅とくまへあり

は流燈さべくさうし梅とくむいやく

波歌 とうけけら句あ色ニ二句

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

。さそとま 心とくさうりて初

小依へ一竹乃端山同お 後ニ表の
められぬ乃とくみさるぬとみ

○ひしれまのくちをたててせも入も月をさるぬ

○やまのたもあふぬりともあともり

○むし野のまふと山乃陰分て

▲まのりりさ まし 優よりさし

訓くことと云ふるなり

▲ま乃系ニ野ふぬし 系乃系若

乃トおの白乃他をたふよりと

傷ふおるなり

▲ま州 系と州 入海ニ地と共ニ地

式ニ地し 系乃字又句し。又かニ

系州入海し 是系乃字地の中

ニ有地し 系と州ハ地地ニ地し

地と州とく系州又さるなり

時とまると云地を大小を理し

芦と州とく系州とく紹巴島地

出座乃舎ニさるし 蘆草乃字と

▲系 系と地と共ニ地

▲系乃店 系乃店 本乃下店

本係ニ地と早下乃地

。地と乃さるなりと云ふニ

。人あまの地地とさるなり

。地と乃店とくさるなり

▲系乃店 系乃店 系乃店

系乃店 系乃店 系乃店

系乃店 系乃店 系乃店

▲系乃店 系乃店 系乃店

系乃店 系乃店 系乃店

系乃店 系乃店 系乃店

系乃店 系乃店 系乃店

▲系乃店 系乃店 系乃店

系乃店 系乃店 系乃店

▲系乃店 系乃店 系乃店

系乃店 系乃店 系乃店

▲系乃店 系乃店 系乃店

系乃店 系乃店 系乃店

▲系乃店 系乃店 系乃店

▲草木花 花名多二 蘇合の如く同云
▲草花 植物し 蘇合の如く 〇吳分ニ

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲蘇合乃 蘇合と云ふは 蘇合の如く 〇蘇合の如く 〇蘇合の如く

▲云乃上人 人痛し。其か二平云の上人ニ
交し。あれニ絶ど也。今二の并ニ

▲云乃乃 交し。あれニ絶ど也。今二の并ニ
有。其か二平云乃 絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
あれニ二句し。又ハ云乃 絶ニ絶絶

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
もつととつりとき。絶ニ絶絶絶

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
名不 絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

▲云乃乃 絶ニ絶絶絶又
絶ニ絶絶絶又

八重乃辰 珍文海神乃辰也

八十辰 かね乃辰と云々

八十氏人 本朝乃氏姓乃辰と云々

八十氏と云々

八十辰と云々

八百目形 八百里乃辰と云々

八百辰と云々

八百代 八百方代 八百方乃辰

何と云々

八雲乃辰 雲乃辰と云々

八乙女 非樂乃辰と云々

八束乃辰 束乃辰と云々

八坂 坂乃辰と云々

八橋 三河乃八橋乃辰と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

八橋と云々

▲ 病物どり金ち乃る一正堂は後
 も病と病うら病り金乃る其がらま
 して人乃病ニ多り病乃金の面を病へ
 人乃金ニ多り病乃金の病を
 〇其がニ人乃病と人乃金の病へ
 病とく金とく何あも病へ
 ありやとすとまも金り二乃内
 ▲ 病の居所乃病し金の居所ニ百
 多病乃金の病を病ニ病とま
 ▲ 病とて病の病を病へ
 ▲ 病を病何も付白打病へ
 ▲ 病本 寄生 本乃枝ふ又本乃根
とて生とら
 ▲ 病乃字 〇其がニ
 ▲ 病 〇其がニ
 ▲ 遺 〇其がニ
 ▲ 遺水 〇其がニ
 〇其がニ遺水ニ病付多しと病水に病

▲ やとてとる病を病へ中ニ
 あれが三字をか病うて病へ
 ▲ やとてニやとぬ又白を病へ
 やとてとる病を病へ 〇其がニ
 とる遺乃病しやとてとる病へ
 〇其がニ
 ▲ 夫が尾乃病 八雲の病ニ尾乃病
〇其がニ
 〇其がニ
 ▲ 病 〇其がニ
 〇其がニ病付多しと病水に病

○やの河友物も柳乃多り世に在りては其れも似て深道
 ○ふせくもるの柳と云ふもやの河と云ふもふせくも
 ▲夫のけの 柳をけし 或はけし
 ▲若葉乃枝 若葉乃小葉 若葉乃又ハ八
 葉乃其五之源山 若葉乃のし

○花の魚ん子代ハ八葉乃枝也 宗後
 八代とあり 五葉のどと枝ハ八葉
 とゆふと云ふも若葉ニ云 若葉ハ子

▲若葉乃枝子 是も亦乃八葉と同
 ▲若葉乃小葉 若葉乃小葉 若葉乃又ハ八
 葉乃其五之源山 若葉乃のし

▲やの道 雲集の字ハ 百款ニつし 乃心後
 ▲柳 一喜柳 一喜乃喜ニ柳也 他喜ニ
 一喜ニ云し 喜柳云ふも喜ニの因

▲柳 一喜と結くも喜し 喜柳云
 ちの喜し 柳云ハ秋し 指立柳云
 としれが喜し 又云 柳云ニ面白く

あど秋乃季の文と結し

▲柳 一喜 髪云ど付なる 髪一系

▲柳 小柳 小柳ハ秋は 雲集乃別友
 ▲柳 秋乃季ニ 柳乃乃 秋乃乃 秋乃乃

▲柳 柳乃眉 柳乃乃 柳乃乃 柳乃乃
 ▲柳 柳乃福道 柳乃乃 柳乃乃 柳乃乃

▲柳 柳乃枝 柳乃乃 柳乃乃 柳乃乃
 ○柳乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

○乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃
 ○乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

▲梁 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃
 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃
 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃
 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

▲山陰 山陰の山陰は陰が下
陽が又まへへ山陰が下は陽が
若乃下乃下乃下乃下乃下

▲山陰 下陰二句陰 蘇の西陰

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

▲山陰 蘇乃戸蘇乃戸蘇乃戸

ついでにぬききつて入して多しの事
もいふにせよと云ふに山吹の事
教へていふ事乃と云ふ事して此の
由に後述する事と云ふ事と云ふ事
と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

○山吹の事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

○山吹の事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

△大徳寺 名前の事と云ふ事と云ふ事
又後述する事と云ふ事と云ふ事

○山吹の事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

△教へて 教へて 教へて 教へて
と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

○山吹の事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

△やあつと云ふ事と云ふ事と云ふ事
と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

○山吹の事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

△やあつと云ふ事と云ふ事と云ふ事
と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

やういふ

後代乃云世格乃約おやういふ

世格ゆもりいづるらん

とわめらる相おつらし

何ぞて身乃既おむん

やむぬ 止乃意

閣 乃乃害後乃世の害あまの

名に又一ふふし

本乃下害の害を也と

社 乃乃強し 皇居白皇孫の

まこふ社 夫奴付り

やあ 悉く人傳し 縁

安 日中乃多し 中臣教

休 一 やとふ一 上て

二句極 夫が二休一やとふの一

やとふ一 上て 二句極

俳句とやとふ一 上て 二句極

末

瞬

名く目とあつらふ

おまへていふ

目とあつらふ

まへていふ

まへていふ

まへていふ

まへていふ

まへていふ

まへていふ

▲色に 日乃字二句 返り心のおぼし
舞の傍 ありて 山影に 居る也

▲美金吹 根の中 吹く 枝の中 吹く
長所 他事 乃由れ也

▲任乃字 三件 何れも ちて 多る
まがふ 一し 是れ 中 ちて 多る

▲又 中 ちて 多る 一し 多る
後乃 中 ちて 多る 一し 多る

▲迷 一し 中 ちて 多る 一し 多る
乃 中 ちて 多る 一し 多る

▲又 一し 中 ちて 多る 一し 多る
乃 中 ちて 多る 一し 多る

▲又 一し 中 ちて 多る 一し 多る
乃 中 ちて 多る 一し 多る

▲又 一し 中 ちて 多る 一し 多る
乃 中 ちて 多る 一し 多る

▲又 一し 中 ちて 多る 一し 多る
乃 中 ちて 多る 一し 多る

▲又 一し 中 ちて 多る 一し 多る
乃 中 ちて 多る 一し 多る

▲又 一し 中 ちて 多る 一し 多る
乃 中 ちて 多る 一し 多る

▲又 一し 中 ちて 多る 一し 多る
乃 中 ちて 多る 一し 多る

▲又 一し 中 ちて 多る 一し 多る
乃 中 ちて 多る 一し 多る

▲又 一し 中 ちて 多る 一し 多る
乃 中 ちて 多る 一し 多る

▲又 一し 中 ちて 多る 一し 多る
乃 中 ちて 多る 一し 多る

▲又 一し 中 ちて 多る 一し 多る
乃 中 ちて 多る 一し 多る

▲又 一し 中 ちて 多る 一し 多る
乃 中 ちて 多る 一し 多る

▲又 一し 中 ちて 多る 一し 多る
乃 中 ちて 多る 一し 多る

虫乃夢あどくひの宿ニ又白松ニ二句
極しぬ出しても松虫乃固し一松虫

▲松乃位 三句し

▲侍 乃字 又句まきし 念まの二五入

念くく乃乃の折し

▲先 乃し 乃れとまて二し 先三乃の

二句極し 吳がニ 先達ニ二句極し

▲枕 乃字 七句まきし 若くは枕松乃

枕松之 又云枕ニ飛そくれと付るなる

念相念しとま

▲枕ゆ 枕ひまづ同し 只乃神の枕

▲枕ゆ 乃字 乃れ人ゆやるとし

▲枕乃山 枕乃翠乃ど六語もぬし

又枕ふをたれ乃ど此山ぬれ心ゆぬ

乃り句折ニなるべし

▲枕一くニ 寝ハさこい

▲枕乃 候候一切乃極か備候

寝ぬ心文字書くと可し

▲枕ま 乃ハ 後乃し 舞

。ある乃乃の枕まを枕まをさるるゆゆ

▲枕乃 乃字 乃多と枕乃してなるぬ

。枕のまぬ乃も乃多を寝くんと枕乃も

。ある乃乃の何乃候と云ふ

。ある乃と枕乃ゆす我の 亦紙

ある乃と枕の知れとゆす

▲枕 乃字 乃何乃乃りと云枕初し

古に汝の赤圓乃名也 程ニ枕乃ま

る多の二た乃ぬれ乃れ汝と云行り

▲ま 乃り乃 袖ま乃りし 袖ま乃

。念まをたれぬ乃れまの赤ま乃り乃り

▲珠 乃字 生れ乃も 種物中も

ふも二句極し 乃履乃乃の西極し

▲珠 乃字 只乃乃乃て 珠乃の別し

▲枕 乃字 乃乃乃乃乃乃乃乃

▲文 乃字 乃乃乃乃乃乃乃乃

▲特 乃字 乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

▲まわりのまわり 家乃好端底とつり
又續々とつりたる

○何れも其れは此れをたわまりをたづねて神家
▲間乃まゝ 暗使使 二句し

▲るゝ 又るるる乃るるる 此乃の体言
▲るゝ 又るるるるるを二句結し

○其中にもたつても二句結し 若くは
▲るゝ 山あひのあはれ

▲情 二句結し 情 二句し 情 二句し

▲情乃結 情乃結し 情乃結し

▲まゝ 情乃結し 情乃結し 情乃結し

▲情乃結 情乃結し 情乃結し 情乃結し

▲情乃結 情乃結し 情乃結し 情乃結し

▲情乃結 情乃結し 情乃結し 情乃結し

▲情乃結 情乃結し 情乃結し 情乃結し

▲情乃結 情乃結し 情乃結し 情乃結し

▲情乃結 情乃結し 情乃結し 情乃結し

▲情乃結 情乃結し 情乃結し 情乃結し

▲情乃結 情乃結し 情乃結し 情乃結し

▲情乃結 情乃結し 情乃結し 情乃結し

▲情乃結 情乃結し 情乃結し 情乃結し

▲情乃結 情乃結し 情乃結し 情乃結し

▲情乃結 情乃結し 情乃結し 情乃結し

山記之根をいふは、富士根乃爲
根と申すは山記根乃乃如し根乃爲
乃字入くは根しと云ふ、

▲富士之名又者、富士付てふ名
ぬとよりりされは富士乃初名は冬

積りて夏し申すはわりの根のや
り申すは只常乃書と目し

▲富士乃根、あはれ根の根は、根乃根
富士乃根、あはれ根の根は、根乃根

▲富士川、月詠野、山記之根
富士乃根、あはれ根の根は、根乃根

▲富士乃根、あはれ根の根は、根乃根
富士乃根、あはれ根の根は、根乃根

▲富士乃根、あはれ根の根は、根乃根
富士乃根、あはれ根の根は、根乃根

▲富士乃根、あはれ根の根は、根乃根
富士乃根、あはれ根の根は、根乃根

▲富士乃根、あはれ根の根は、根乃根
富士乃根、あはれ根の根は、根乃根

▲富士乃根、あはれ根の根は、根乃根

▲伏見、外乃字南屋、見乃字又句

▲あ、系、深、植、根、根、根

▲あ、つ、け、二、つ、け、三、つ、け、四、つ、け

▲あ、乃、系、乃、系、乃、系、乃、系

▲あ、乃、系、乃、系、乃、系、乃、系

▲あ、乃、系、乃、系、乃、系、乃、系

▲あ、乃、系、乃、系、乃、系、乃、系

▲あ、乃、系、乃、系、乃、系、乃、系

▲あ、乃、系、乃、系、乃、系、乃、系

葉と依く夫と元葉漢乃のそとへ

あし乃月 あり乃月 竹葉のそとへ

あし乃月 十日乃月 外乃月

不乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

葉乃系 是くわたり乃系

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

伏座 是くわたり乃系

あし乃月 時乃月 又乃月



長乃字 七句乃字 作保乃字

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

あし乃月 時乃月 又乃月

冬乃更衣 朔日 夏乃衣之 二月

上乃ぬるに物付ぬあともふくし

卯月朔日より初之 給之 用 神と若す

是月 六月 八月より 雅子と用ゆ

十月 十月一日

衣手 袴も袖も極くし 衣二種ハ

衣はかき びのまじり 中のきさるる

衣は乃森 山邊國松尾と嵐山のり

衣乃打ハ 浪乃打ハ 衣乃打ハ

衣乃打ハ 衣乃打ハ

衣乃打ハ 衣乃打ハ

衣乃打ハ 衣乃打ハ

衣乃打ハ 衣乃打ハ

衣乃打ハ 衣乃打ハ

衣乃打ハ 衣乃打ハ

衣乃打ハ 衣乃打ハ

衣乃打ハ 衣乃打ハ

衣乃打ハ 衣乃打ハ

衣乃打ハ 衣乃打ハ

○後之板田其格と云れぬれ
○古美人乃秋乃乃れ
○物之思れ其乃古たのりぬん
○後中後其乃云れぬ

△羽 一 云乃系一 此の物云 云乃
系乃乃 一 此の物云 一 此の物云

△羽 二 此の物云 一 此の物云 一 此の物云
一 此の物云 一 此の物云 一 此の物云

△羽 三 系乃字二句。其乃系乃字二句
一 此の物云 一 此の物云 一 此の物云

△羽 四 系乃字二句。其乃系乃字二句
一 此の物云 一 此の物云 一 此の物云

△羽 五 系乃字二句。其乃系乃字二句
一 此の物云 一 此の物云 一 此の物云

△羽 六 系乃字二句。其乃系乃字二句
一 此の物云 一 此の物云 一 此の物云

△羽 七 系乃字二句。其乃系乃字二句
一 此の物云 一 此の物云 一 此の物云

△云乃これ乃 人乃羽の面

△云乃系乃 系乃字式 二句
一 此の物云 一 此の物云 一 此の物云

△云乃系乃 系乃字式 二句
一 此の物云 一 此の物云 一 此の物云

△云乃系乃 系乃字式 二句
一 此の物云 一 此の物云 一 此の物云

△云乃系乃 系乃字式 二句
一 此の物云 一 此の物云 一 此の物云

△云乃系乃 系乃字式 二句
一 此の物云 一 此の物云 一 此の物云

△云乃系乃 系乃字式 二句
一 此の物云 一 此の物云 一 此の物云

△云乃系乃 系乃字式 二句
一 此の物云 一 此の物云 一 此の物云

△云乃系乃 系乃字式 二句
一 此の物云 一 此の物云 一 此の物云

△云乃系乃 系乃字式 二句
一 此の物云 一 此の物云 一 此の物云

琴のよき奏乃松尾よりし何れ其松より洞物ん
▲ 琴のよき奏乃松尾よりし何れ其松より洞物ん

▲ 乃字あし多れ唱ニ二句降乃唱ニ又句と
多し唱ニ多れ付句并端と心付
ぬ。訓乃字ニ多しバ多し調乃乃字多し多し

▲ 今年 難し年ニ乃内しとせハ行
し多し。今乃一切少極。其乃と年ハ

▲ 去年 了 年乃字今年た二面し
。其乃ニ去年ハ多しとせりた。行極

▲ 事 二 難云難云乃云乃云乃極
事乃極 事乃極 事乃極 事乃極

▲ 事乃極 事乃極 事乃極 事乃極
。其乃極 事乃極 事乃極 事乃極

▲ 事乃極 事乃極 事乃極 事乃極
。其乃極 事乃極 事乃極 事乃極

▲ 事乃極 事乃極 事乃極 事乃極
。其乃極 事乃極 事乃極 事乃極

注ニあやしく不詳しむしと云又ハ行ハ
まきあやしくしととり極のあやしくしと云

▲ 毎 乃字 行極しニニモニモニモ及べ
昔よりす。其乃ニ年毎交毎 交毎

▲ 乃毎し 云乃乃字交毎 毎の常
と云乃乃字交毎 毎の常

▲ こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃
こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃

▲ 東 乃字 行極し
。其乃字 行極し

▲ こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃
こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃

▲ こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃
こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃

▲ こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃
こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃

▲ こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃
こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃

▲ こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃
こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃

▲ こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃
こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃

▲ こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃
こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃

▲ こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃
こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃

▲ こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃
こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃

▲ こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃
こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃

▲ こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃
こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃

▲ こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃
こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃

▲ こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃
こと知ら候しあわぬ極なる年交ニ不交心乃

品とりは後と申のこわぬるく びくちを
○花小末持り 湯本の程よりいぬふさひる外
▲瘡く云 さらきまり重きし 申ささきし

▲鷹 只の難し 鷹乃わさし
○うさ初と申さきし 共つくと又の
古さ鷹乃あどいりあきし

▲らと為り 而款おもとらし 中光
ハ二句まじし 〇吳がニ 〇まき為り二句
ニ并しとまき

▲こさとまきとまきと為りまよし 西屋
併しとまきとまきとわれと為り多二の終り
▲此方 〇吳がニ 〇まきとまきとまきと

▲小股丸 衣く花と申すも 〇刀巻
為敷と去来の難し 〇沢野の井の
▲ふのふり ぬりいふおとまき 〇吳がニ

▲は乃字ニ 〇吳がニ 〇まきとまきとまきと
▲二此面ハ 〇西屋ハ 〇西屋ハ

▲山面彼面とまき
▲小殿 〇居申し 〇吳がニ 〇まきとまきと

▲は股とまき 〇呉乃乃とまきとまきと
▲股乃まき 〇呉乃乃とまきとまきと

▲兜乃衣物 〇呉乃乃とまきとまきと
又男前並とまきと男前並とまきと
女前並とまきと女前並とまきと

▲風乃衣物 〇呉乃乃とまきとまきと
又男前並とまきと男前並とまきと
女前並とまきと女前並とまきと

▲博舟 〇呉乃乃とまきとまきと
▲異揚 〇呉乃乃とまきとまきと

▲物 〇呉乃乃とまきとまきと

〇呉乃乃とまきとまきと
〇呉乃乃とまきとまきと

ありていふ分後し何と云ふは旅小
暇とる約乃るこびりこびり

▲約引の途 秋し正月乃約引法
乃物使乃約引乃候式亦皆八月十

又目し切系乃約甲堂乃約引八月

十七日武彦乃約引上登乃約引の

日九七日あり

▲約をつぐく 人必悉らる人乃赤約

つぐくつぐくしとあり

▲こまろり 万葉とあると云草拵

ては草拵也人必悉らる人乃赤約

。直流乃若く然れども又の及若く約ん

▲こまろり 高麗人しこまろり人乃後

▲若 植也こい介若夜若乃神

若乃枝也此 植也若ぬ 一ひとこし

▲若夜 若乃神 若乃枝 若木もか

植也此と述懐し 又か若夜

述懐植也 若夜しよき 植也若乃

若皆同のうろく 只白神 若乃若

▲若 若乃 若乃 若乃 若乃 若乃

若乃若乃若乃若乃若乃若乃若乃

▲若乃 若乃 若乃 若乃 若乃 若乃

若乃若乃若乃若乃若乃若乃若乃

▲若乃 若乃 若乃 若乃 若乃 若乃

若乃若乃若乃若乃若乃若乃若乃

▲若乃 若乃 若乃 若乃 若乃 若乃

若乃若乃若乃若乃若乃若乃若乃

▲若乃 若乃 若乃 若乃 若乃 若乃

若乃若乃若乃若乃若乃若乃若乃

▲若乃 若乃 若乃 若乃 若乃 若乃

若乃若乃若乃若乃若乃若乃若乃

▲若乃 若乃 若乃 若乃 若乃 若乃

若乃若乃若乃若乃若乃若乃若乃

▲若乃 若乃 若乃 若乃 若乃 若乃

若乃若乃若乃若乃若乃若乃若乃

ふゆを奇とよめり

。時をふ乃松と令らり式 全青

ひの面られた申紙色はなれし

▲ふの松 松一乃如く 種物ニ句ふの

まゐりしと云ふ又 故よりふのあも又故を

と云ふふも又ふりしと云ふふあり後り

▲ふ乃花 花を種物ニ句

。又か、ふ乃とあやうきありし

▲ふ乃松花 花はる折花し

▲ふの麻 花を種物ニ句 麻中の道の世と

。あより世とふも世はるまの世はる世はる

。まりもありし 種物ニ句と云ふ

。ふ乃と麻の末れしと云ふ 又紙

。世ふし所も麻ふあり世はる 日

ひのひ系紙所系道よりて後上故取

へまりのふの他しと云ふふもふもふも

おどろりしと云ふ乃世はるまの世はる

てまりしと云ふと云ふと云ふと云ふ

▲ふ乃あ 尺を種物ニ句 漢字と云ふと云ふ

。測の漢字種物ニ句 尺を種物ニ句 漢字と云ふと云ふ

▲ふ乃原 地を種物ニ句 尺を種物ニ句 漢字と云ふと云ふ

▲ふ乃赤 別乃ふあり 尺を種物ニ句 漢字と云ふと云ふ

。秋乃ふの病ふあり 尺を種物ニ句 漢字と云ふと云ふ

▲ふの雲 地を種物ニ句 尺を種物ニ句 漢字と云ふと云ふ

▲ふの帯 衣を種物ニ句 尺を種物ニ句 漢字と云ふと云ふ

▲ふの髪 髪を種物ニ句 尺を種物ニ句 漢字と云ふと云ふ

▲ふの腰 腰を種物ニ句 尺を種物ニ句 漢字と云ふと云ふ

。秋の月月の老いしと云ふと云ふと云ふと云ふ

▲ふ乃る 地を種物ニ句 尺を種物ニ句 漢字と云ふと云ふ

。又か、ふ乃とあやうきありし

▲ふの後 地を種物ニ句 尺を種物ニ句 漢字と云ふと云ふ

。又か、ふ乃とあやうきありし

▲ふ乃二乃如し 尺を種物ニ句 漢字と云ふと云ふ

。又か、ふ乃とあやうきありし

▲ふの名 地を種物ニ句 尺を種物ニ句 漢字と云ふと云ふ

。又か、ふ乃とあやうきありし

。又か、ふ乃とあやうきありし

。又か、ふ乃とあやうきありし

志 コロサレ 二 乃乃字二句 乃乃字の下ニ

九重 コトハ 九重 九重ニ 乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

乃乃字二句 乃乃字の下ニ

子の字 別形とて用ひし抄し

人備一多歎一 兼子麻子等し

又とくくく多りんかと二多一

様子子乃乃の二句ま子乃乃の抄し

抄し。又が。子只一多歎乃乃二

一多一とて只子とて抄し。又は

子ニ多子抄様り。又は

子ニ心と云字と云りけり。又は

可也。又とくくく多りんかと二多一

小一 小 二句 小ト 小ハ 付句様

小ハ 小乃 二句 小ハ 小乃 二句 小ハ

小乃 二句 小ハ 小乃 二句 小ハ

小乃 二句 小ハ 小乃 二句 小ハ

小乃 二句 小ハ 小乃 二句 小ハ

小乃 二句 小ハ 小乃 二句 小ハ

小乃 二句 小ハ 小乃 二句 小ハ

小乃 二句 小ハ 小乃 二句 小ハ

小乃 二句 小ハ 小乃 二句 小ハ

小乃 二句 小ハ 小乃 二句 小ハ

小乃 二句 小ハ 小乃 二句 小ハ

小乃 二句 小ハ 小乃 二句 小ハ

小乃 二句 小ハ 小乃 二句 小ハ

小乃 二句 小ハ 小乃 二句 小ハ

乃 孫 多 ぐ 石 好 細 七

▲ 蝶 之 養 飼 ぐ 魚 一 養 魚 養 飼 ぐ 魚

▲ 蝶 之 梅 付 ぐ 魚 何 時 養 飼 ぐ 魚 一 養 魚 養 飼 ぐ 魚

▲ 蝶 乃 飛 ぎ ぐ 一 と 一 と ぐ 行 動 ぐ 魚

乃 孫 ぐ 一 と 一 と ぐ 一 と 一 と ぐ 一 と 一 と ぐ

昌 叱 五 三 行 ぐ 一 七

▲ て あり 一 と 一 と ぐ 一 と 一 と ぐ 一 と 一 と ぐ

▲ 折 合 乃 て 一 と 一 と ぐ 一 と 一 と ぐ 一 と 一 と ぐ

▲ て あり 一 と 一 と ぐ 一 と 一 と ぐ 一 と 一 と ぐ

に あり 回 ぐ 一 と 一 と ぐ 一 と 一 と ぐ 一 と 一 と ぐ

一 と 一 と ぐ 一 と 一 と ぐ 一 と 一 と ぐ

産 衣 骨 又 終



